

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

人間愛に基づき行動し、人にやさしい、地球にもやさしい社会を創造。不動産のサービスでサステナブルな社会に貢献

首都圏顧客比率
36.1%

総負債構成比
35.3%

売上高占有率
22.4%

② 中長期の経営戦略

1. 不動産賃貸サービス

居住者向け、特に単身者向け賃貸不動産を中心に展開。首都圏以外の政令指定都市における仕入れ機会を追求し、ストック収益の安定確保を図る

3. 不動産売買

含み益の実現益への転換による投資収益確定の手段として賃貸不動産売却を実施。購入は案件選別と利回り検討で慎重に対応

2. 不動産証券化サービス

不特法に基づく証券化商品と電磁的取引対応クラウドファンディング型商品の展開で優位性を維持強化。投資家との関係維持発展に努める

4. セキュリティトークン展開

2024年11月1日施行の改正金融商品取引法に基づき、ブロックチェーン技術を用いた不特法ST発事業に特化し条件整備

③ 対処すべき課題

① 優良不動産仕入れ力の強化

- ・リスク分析に基づく選別強化
- ・首都圏・政令指定都市での情報収集と価値査定力の継続強化

② 保有不動産の競争力維持向上

- ・計画的な修繕と設備導入で収益力・競争力を維持向上

③ 資金調達基盤の維持拡大

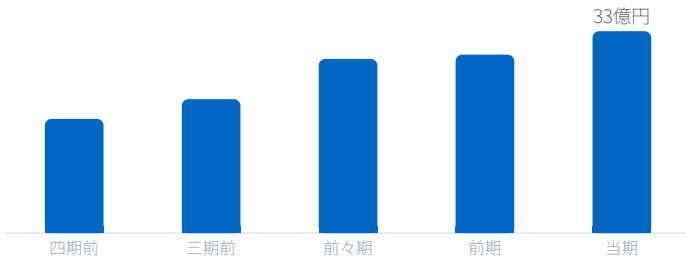
- ・金融機関融資基盤の維持拡大
- ・不特法匿名組合出資調達基盤の多様化

面接で使えるポイント

- ・経営理念に掲げる『人にやさしい、地球にもやさしい社会創造』に共感し、不動産を通じた社会貢献に関心がある
- ・不特法ST（セキュリティトークン）など新しい金融技術への対応と商品力強化に取り組む成長戦略に魅力を感じている
- ・首都圏以外の政令指定都市への事業拡大と、月次開示システム（特許第5831989号）など情報開示の充実に力を入れる姿勢に共...

証券コード 3494

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
不動産業を営む上場企業で、直近期の連結売上は33億円

主力事業・セグメント

- ・不動産業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
30点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 39.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
611万円

不動産業内 91位/130社

平均年齢
51.3歳

不動産業内 5位/131社

平均勤続
7.8年

不動産業内 46位/131社

女性管理職
8.3%

不動産業内 52位/76社

男性育休
0.0%

不動産業内 56位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 中外鉱業[1491]：株式会社マリオンとの業務提携契約締結に

